

本部名：小林中学校区支援地域本部

連絡先：小林市教育委員会社会教育課
電話：0984-22-7912
FAX：0984-23-9700

1 実施状況

対象学校	小林中学校、小林小学校、南小学校
活動分野	学習支援活動・登下校の安全指導・学校行事・環境整備
【学校支援の取組】 ○読み聞かせ（通年）○あいさつ運動（通年）○クラブ活動支援（通年）○登下校の見守り（通年） ○環境整備（通年）○水田管理支援（通年）○部活動支援（通年）○授業補助や丸付け等の学習支援（通年） ○校外学習の際の安全見守り（6月）○体育授業補助（7月）○サマースクール（8月） ○戦争体験講話（8月）○伝統芸能指導（8・9月）○運動会救護補助（9月）○高齢者とのふれあい活動（10月） ○ものづくり体験活動講師（11月）○人権集会（12月）○面接指導（2月）	
○地域コーディネーター（5）人 ○ボランティア登録数（281）人	

2 特色のある取組の紹介

①「小林小まつり」（小林小）

【ここがイチオシ・本部自慢！】 地域みんなで生き生き、楽しく体験活動！

○ 活動内容

毎年恒例の体験活動として、全校児童で小林小まつりを実施した。特に、4～6年生は、総勢43名の講師を招き、13の体験講座を設定した。保護者や地域の方々とともに、楽しく学ぶ充実した活動となった。



【竹細工教室の様子】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ 身近な自然に目を向ける活動がとても楽しかった。（児童）
- ・ 子どもたちの生き生きとした表情がうれしかった。（保護者）

②「人権擁護委員による人権教室」（南小）

【ここがイチオシ・本部自慢！】 みんなを大切にする気持ちを育てる人権教育！

○ 活動内容

南小の人権教育週間における取組として、人権擁護委員の方々による人権教室を、上・下学年ごとに実施した。今回は、赤ちゃんが産まれてくるまでの様子をもとに、人の命の大切さについて考えさせながら、人権意識を高めることができた。



【具体物や写真による説明】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ 自分たちが産まれる前から大切にされてきたことを学んだ。自分やみんなの命を大切にしたいと思った。（児童）
- ・ 子どもたちが命の大切さをしっかり考えてくれたのがうれしかった。（ボランティア）

③「小林未来予想図」（小林中）

【ここがイチオシ・本部自慢！】 一人一人が真剣に考える郷土の未来！

○ 活動内容

市役所の方を講師として招き、現在の小林市が抱える問題点や未来における課題などについて話を聞かせてもらった。工業建築・商業・畜産・農業・水産業・医療福祉の6分野について話を聞くことができた。



【産業の状況についての説明】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ これからの小林について真剣に考えることができた。（生徒）
- ・ 地元について考えることで、郷土愛を育むよい機会となった。（教職員）